

未来を生き抜く力と健やかな「からだ」の育成

チーム武庫

11月号

三田市立武庫小学校長 松田文貴

《チーム武庫の音楽会》

21日（土）に令和5年度の音楽会を開催しました。今年度は人数制限や入れ替え制を若干緩和し、1年生と4年生、3年生と5年生、2年生と6年生の3部に分け、練習の成果を披露しました。コロナウイルスによる一斉休校以来、状況に応じて、クラス単位の合奏から学年単位での合奏と工夫をして取り組んできましたが、今年度は合唱も披露することができました。4年ぶりの合唱です。活動制限の間は授業においても合唱どころか歌唱を控える時期がありました。感染対策の定着と予防意識の高まり、指導方法の工夫を積み重ねた結果だと思います。

1年生は「きたかぜとたいよう」の音楽物語と合奏「アイアイ」でした。「みんないいところがあって、みんなすてき」という音楽物語を表現豊かに歌った1年生が、とても素敵でした。

2年生は斉唱「キラキラ キラキラ」と鍵盤ハーモニカを交えた「ぷっかりくじら」「家路」、合奏「チェッ チェッ コリ」でした。放課後の子どもたちの様子がよく見えた演奏でした。

3年生からリコーダー奏が入ります。「ビギナーズ ファイブ」で5音を使ったメドレーを上手に演奏しました。斉唱「手をつなごう」では、担任の先生も、ギター、カホン、タンブリンを演奏しながら一緒に歌い、一体感を感じました。合奏「八木節」はとても力強かったです。

4年生からは合唱になります。「君をのせて」、リコーダー奏「カントリーロード」、合奏「やさしさに包まれたなら」「ルージュの伝言」など、有名な曲が次々に出てきました。みんな、ジブリの世界に引き込まれ、優しい気持ちになれました。

5年生はリコーダー奏「ミックスナッツ」と合唱「心のノート」合奏「千本桜」でした。楽しいメロディに振付をしたリコーダー奏、高学年らしい心の内をうたった合唱、そして、人気曲の「千本桜」の合奏。どれも難しい曲でしたが、練習を重ね息の合った演奏ができました。

最後の締めくくりは6年生です。今年は合唱「COSMOS」、リコーダー奏「打ち上げ花火」、合奏「木星」を演奏しました。合唱はやはり最高学年ならではの美しいハーモニーを響かせてくれました。リコーダー奏は速いテンポで、運指が難しい曲でしたが、しっかり演奏できました。そして、合奏。やはり最高学年でした。広い宇宙に太陽系最大の惑星である「ジュピター」が浮かんでいる様子が見えました。演奏中、自分の出番がないときにも、姿勢よく指揮者を見つめる姿はさすがでした。

演奏後、来賓の方や器楽ボランティアのみなさんから、「いい演奏だった」「いい音楽会だった」「感動した」とたくさんのお声をいただきました。武庫っ子のがんばりに拍手です。

合唱については、この3年間、少しロずさむところから始まり、距離を開けての少人数、そして教室に広がっての歌唱と工夫しながら授業に取り組んできました。大きな声を出すことが制限された時期を過ごしてきたので、音量は控えめだったかもしれませんが、各学年、精一杯の歌声を響かせてくれました。合唱、合奏など学年で力を合わせて一つのものを創るということは子どもたちにとってかけがえのない経験を積む場であることも改めて感じました。

また、例年お世話になっている器楽ボランティアのみなさんにも大変お世話になりました。各学年の練習時の指導を中心に、楽器のチューニングから体育館への搬入、楽器のセッティング、後片付けまでお世話になりました。ありがとうございました。



【スタッフとして支えてくださいます】

☆保護者の皆様から寄せられた感想を一部抜粋して紹介します。学校だけで行事を創るのではなく、お家の方も一緒になってくださっています。ありがとうございます。

- ・今年合唱も再開し、とても楽しみにしていました。入学してから一度も歌声を聞いたことがなかったのですが、力強さもあり、みんなで合わせようという気持ちも覚えてよかったです。ボランティアのみなさんには感謝でいっぱいです。
- ・先生方も一緒に楽器を演奏されたり、器楽ボランティアの方のご協力だったり、温かい音楽会に感謝するとともに、わが子もその様子を間近で見て、心にも残ったと思う。
- ・とてもよい音楽会でした。体を揺らしながらみんなで歌っている姿にとっても感動して、リコーダーも苦手だったのですが、頑張っている姿が見られて、みんなとっても上手に演奏していて、子どもたちの成長した姿が見られて嬉しかったです。
- ・毎日メロディを口ずさみながら練習していました。最初は「難しいなあ」と言っていたのですが、指導のおかげで自信をもって本番に臨むことができました。音楽会が終わっても口ずさんでいます。他の学年の演奏も含め、毎日話が聞けました。卒業した姉も「へー」「いいなあ」などと返し、家庭での団らんにつながり、家で盛り上がりました。
- ・指揮の先生を見て最後の音をまとめる瞬間は鳥肌もので、涙が出そうになりました。コロナで長らく見ることのできなかった合唱に取り組んでいただけたことはとても嬉しく思いました。自分の声が友達の声と交じり合っって一つの歌声になることを体験でき、心に何か感じるものがあつたんじゃないかなと感じました。
- ・合唱や合奏において先生や友達と息を合わせて練習してきた様子が本番に表れており感動しました。日常の学校生活のほか、このような行事を通して何かに向かって努力したり、やり遂げたりする経験をすることによって子どもの成長が感じられます。
- ・家で練習する姿を見ていたので、曲自体は知っていましたが、合唱も合奏も想像以上に素晴らしくて感動しました。ここ数年は歌が歌えず、楽器が思うようにできず、音楽の授業が受け身なものになりがちでしたが、今年はとても楽しそうでした。

《自分の安全は自分で守る！》

24日（火）には情報セキュリティ教室として、兵庫県警サイバーセキュリティ・捜査高度化センターから警察間の方に来ていただき、6校時は5・6年生、その後保護者対象に講演会がありました。巧みな話術もあり、子ども達も自らに関わることであるので、真剣に話を聴いていました。その後、保護者へのお話も、人数は少なかったのですが、丁寧に進めてくださり、わかりやすい内容でした。

ネット上に示されるコマーシャルやメッセージ、アンケートなど、何も知らなければいかに危険で、どんな結末が待ち受けているのか、事例を挙げながらお話しくださったので、自分たちが何も知らずにSNSや動画サイトなどに関わっていることがいかに危険であるかがよく分かったようでした。また、ネットでの情報のやり取りはネット内にとどまらず、子どもたちの将来の進路にも重大な影響を及ぼす可能性があることを知り、身が引き締まる思いでした。このような話が保護者のみなさんや子どもたちにしっかりと伝わるといいなと思うひと時でした。

27日（金）には4年生対象の交通安全教室が開かれました。主に交通ルールや自転車の乗り方についての話でしたが、小学生が自転車で高齢の歩行者と衝突し、損害賠償が発生した事例を聞くと、自分たちが加害になる可能性があることとわかり、気を引き締めたようでした。「月に1000円のお小遣いをもらっているとしたら、払い終えるまでに8000年ほどかかる金額」という話に子どもたちは驚いていました。加害にも被害にもならないよう、安全な過ごし方をお家でお話しただけであれば幸いです。



《読書活動の充実に向けて》

今年度もPTAから1～3年生に学級文庫の図書を購入していただきました。家庭読書等の活動を利用し、どんどん読書をし、通帳に履歴がたまっていくよう、ご家庭でもお声掛けをよろしくお願ひします。読書習慣の定着にむけて、ご協力をいただいていること、本当にありがとうございます。

